

令和6年度英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業 第2回福島リサーチカンファレンス／ 第1回英知事業ワークショップ

開催日 令和6年10月21日(月) 13:00 ~ 18:00

会場 ビジョンセンター新橋 1702 会議室

主催 日本原子力研究開発機構 廃炉環境国際共同研究センター

—————プログラムのご案内—————

- 13:00 ~ 13:15 開会挨拶
【公開】 鈴木 顕
(文部科学省研究開発局原子力課放射性廃棄物企画室 室長)
山名 元
(プログラムディレクター/原子力損害賠償・廃炉等支援機構 理事長)
- 13:15 ~ 13:25 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業について
【公開】 岡本 孝司 (日本原子力研究開発機構 廃炉環境国際共同研究センター)
- プレス退室【以降：非公開】
- 13:25 ~ 13:50 デブリ取り出しの安全性確保を目的とした中性子源等のイメージング手法の
〔シーズ側発表〕 研究
松林 錦 (京都大学)
- 13:50 ~ 14:15 高線量かつ不可視環境下での炉内可視化を可能とするレーザ偏向検出型超音
〔シーズ側発表〕 波広帯域3Dイメージングシステムの開発
木倉 宏成 (東京科学大学)
- 14:15 ~ 14:40 視界不良・高線量下での空間認識のための超音波可視化技術
〔シーズ側発表〕 林 高弘 (大阪大学)
- 14:40 ~ 14:45 休憩
- 14:45 ~ 15:10 高放射線耐性を有する無線データ伝送用チップセットの要素開発(ベースバ
〔シーズ側発表〕 ンド回路開発)
宮原 正也 (高エネルギー加速器研究機構)
- 15:10 ~ 15:35 高放射線耐性を有する無線データ伝送用チップセットの要素開発(高周波ア
〔シーズ側発表〕 ナログ回路開発)
白根 篤史 (東京科学大学)
- 15:35 ~ 15:40 休憩

- 15:40 ~ 16:05 耐放射線性を有するレーザスキャナと AI・画像処理による 3D モデリング法の開発
〔シーズ側発表〕 福田 知弘 (大阪大学)
- 16:05 ~ 16:30 データ駆動型オンサイト診断技術：長期的健全性を確保するための微生物腐食リスク予測
〔シーズ側発表〕 若井 暁 (海洋研究開発機構)
- 16:30 ~ 16:45 廃炉中長期実行プランについて
〔ニーズ側発表〕 飯塚 直人 (東京電力 HD (株))
- 16:45 ~ 16:50 休憩
- 16:50 ~ 17:15 燃料デブリ研究と SEEM 学構築を基軸とした研究人材育成
〔シーズ側発表〕 渡邊 豊 (東北大学)
- 17:15 ~ 17:40 燃料デブリ取り出しに向けた遠隔ロボット-計測技術の統合のための研究教育人材育成
〔シーズ側発表〕 斉藤 拓巳 (東京大学)
- 17:40 ~ 18:00 総合討論・まとめ
山口 徹治 (原子力機構 廃炉環境国際共同研究センター)
- 18:00 ~ 閉会挨拶
岡本 孝司 (原子力機構 廃炉環境国際共同研究センター)

※シーズ側の発表は1 課題あたり
発表 10 分、議論 15 分の計 25 分